

2024年度活動報告書

■ 活動内容(2024年4月～2025年3月)

・総括

大和ハウス工業様のご支援のもと、難民人材の就労機会の創出および社会統合に向けた取り組みを推進してまいりました。

2024年度も、WELgeeは「難民の方々が、自らの力で未来を切り拓く社会」の実現に向けて、多くの企業・団体・個人の皆さまと連携しながら活動を進めてまいりました。

日本に暮らす難民の方々が社会の一員として力を発揮できるよう、就労支援・日本語教育・キャリア形成の機会を提供し、同時に、企業・社会における理解促進と受け入れ体制の構築にも注力してまいりました。

この報告書では、皆さまのご支援によって生まれた成果と課題、そして今後の展望についてご報告申し上げます。

【大和ハウス工業様のご寄付によって生まれたインパクト】

1. 育成事業

- ・新規難民接点者数: 103名(累計559名)
- ・キャリア面談実施数: 71名
- ・Career Training Program 参加者: 50名 → うち41名がメンターと3か月伴走
- ・日本語学習支援: 5か月間の授業提供(17名) + 「日本語倶楽部」発足

職業訓練・日本語教育を通じた“定着支援”が着実に進行中。就職後の活躍も視野に入れた多面的な支援が強みです。

2. 難民人材の就労支援(WELgee Talents)

- ・連携企業数: 73社(前年より増加)
- ・人材推薦数: 35名(うち62社に推薦)
- ・雇用実績: 7件(内訳: お試し雇用から正社員移行2件、新規お試し雇用後採用5件)

企業との協議・推薦は拡大していますが、採用数は減少。マッチングの質の向上と企業内受け入れ体制強化が次年度の課題です。

3. 社会啓発・協働プラットフォームの推進

- ・講演・登壇:18回
- ・メディア取材掲載:19件(世界難民の日に集中)
- ・企業連携イベント:「世界難民の日アイデアソン2024」(参加企業34社・参加者50名)
- ・プラットフォーム構築:経済同友会等と連携し「難民人材活躍プラットフォーム」を継続開催(年3回ラウンドテーブル)

「難民人材活躍プラットフォーム」では、難民の日本社会での活躍に関心を持つ企業を増やし、採用や企業リソースを活用した取り組みを推進するために、参画企業同士の建設的な対話の機会を設けてきた。2024年度は3ヶ月に1回のペースで、全3回のラウンドテーブルを開催し、「弊社の取組をプラットフォームでシェアさせていただきたい」「難民就労支援に対する理解度を高めたい」といった参画企業のご意見をアジェンダに反映しながら、プラットフォームの運営を行った。

共感だけでなく、具体的なアクションにつなげる企業連携が進展。企業のDEIや人的資本経営への関心と接続。

ご寄付金の使途とインパクト(エンドレス基金経由)

大和ハウス工業様より、エンドレス基金を通じて頂戴したご寄付は、WELgeeの育成事業の中でも特に、

- 日本語学習プログラムの運営
- 就労に向けた伴走支援(キャリア支援・メンタリング)

の2つの中核的な取り組みに充てさせていただきました。

今後の展望

「就労機会の創出」及び「定着支援」へ

これまでに蓄積してきた就労マッチングの知見をもとに、今後は採用後の定着支援・活躍支援を強化していきます。

- 企業と難民人材の双方に対するオンボーディング支援
- 就労後の定期フォロー・キャリア面談の導入
- 「就労後に孤立しない」仕組みの共創
- 持続可能な雇用の実現を目指します。

企業との共創による実践型プラットフォームの進化

経済同友会等と共に立ち上げた「難民人材活躍プラットフォーム」は、企業の意欲ある参画を受け、実装型のフェーズへと移行します。

- 人的資本経営やDEI推進と難民就労を接続
- パートナー企業による採用事例・取組の共有
- 多様な業界への展開とネットワークの拡充

難民人材と企業が互いに価値をもたらす共創の場として、より実効性ある取り組みへ発展させていきます。

エンパワメント支援

日本社会における難民認定のハードルや在留資格の制約と向き合いながらも、にも力を届けるための支援を継続します。

- 日本語学習・キャリア支援